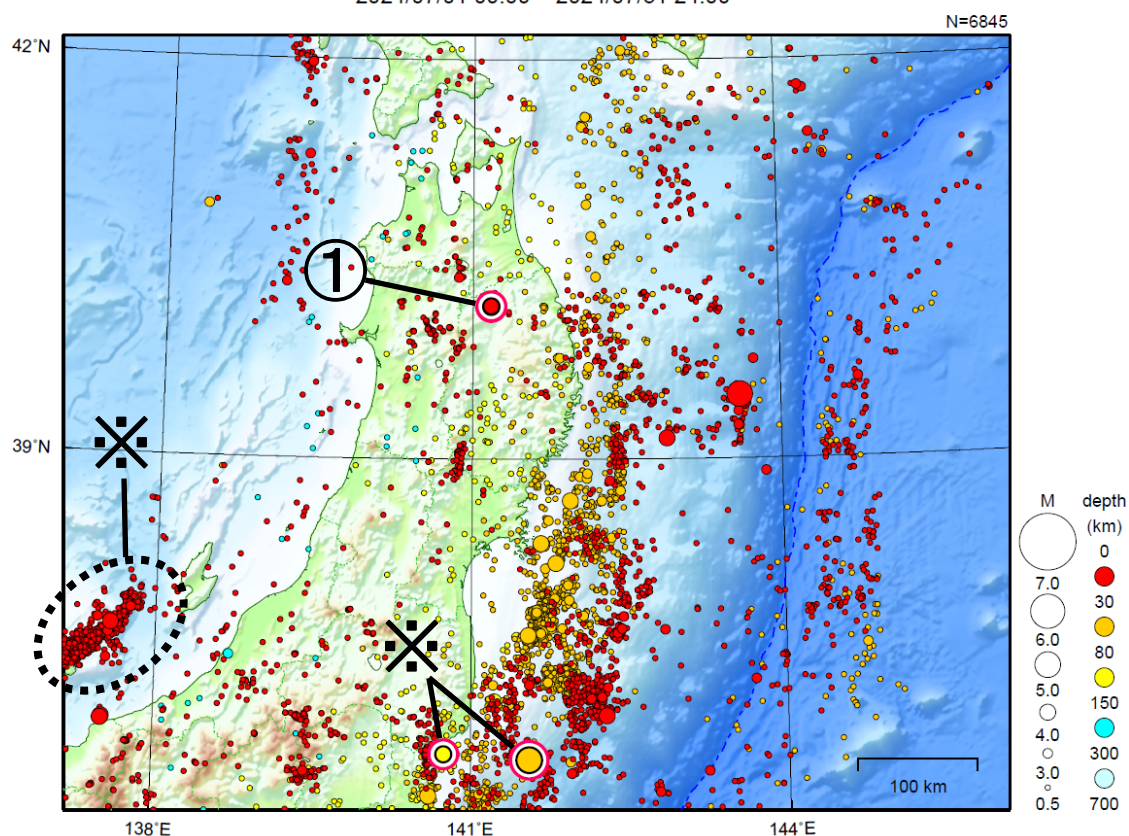


東北地方

2024/07/01 00:00 ~ 2024/07/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 7月19日に岩手県内陸北部で M4.0 の地震（最大震度4）が、7月28日には岩手県内陸北部で M4.2 の地震（最大震度4）が発生した。

※で示した地震については関東・中部地方の資料を参照。

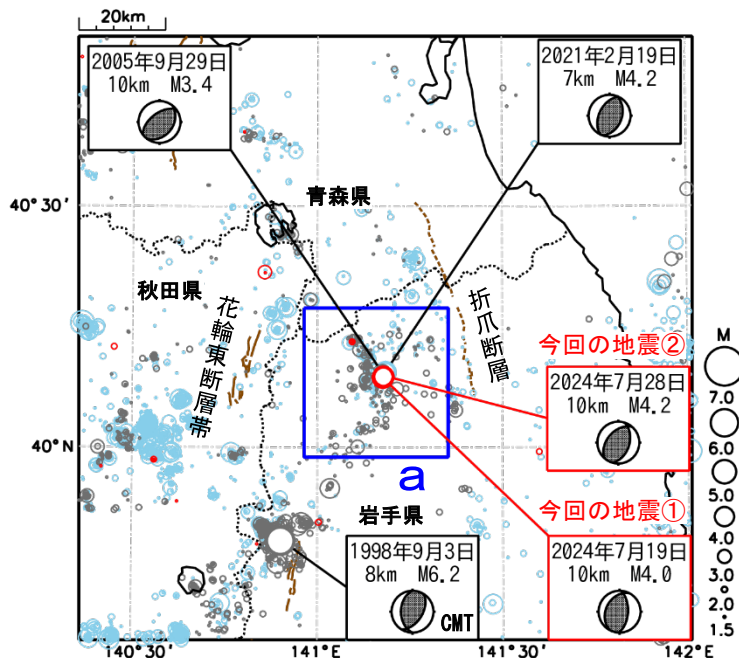
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

7月19日、28日 岩手県内陸北部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2024年7月31日、
深さ0～30km、M $\geq$ 1.5)

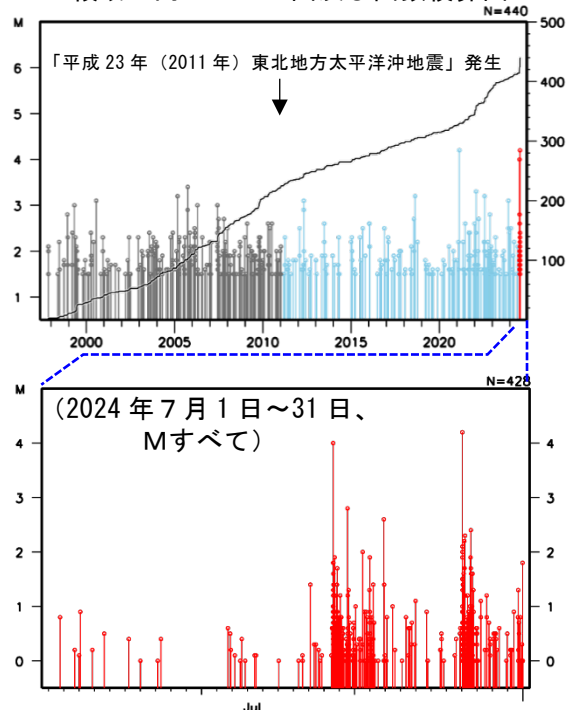
○1997年10月1日～2011年2月28日 ○2011年3月1日～2024年6月30日
●2024年7月1日以降



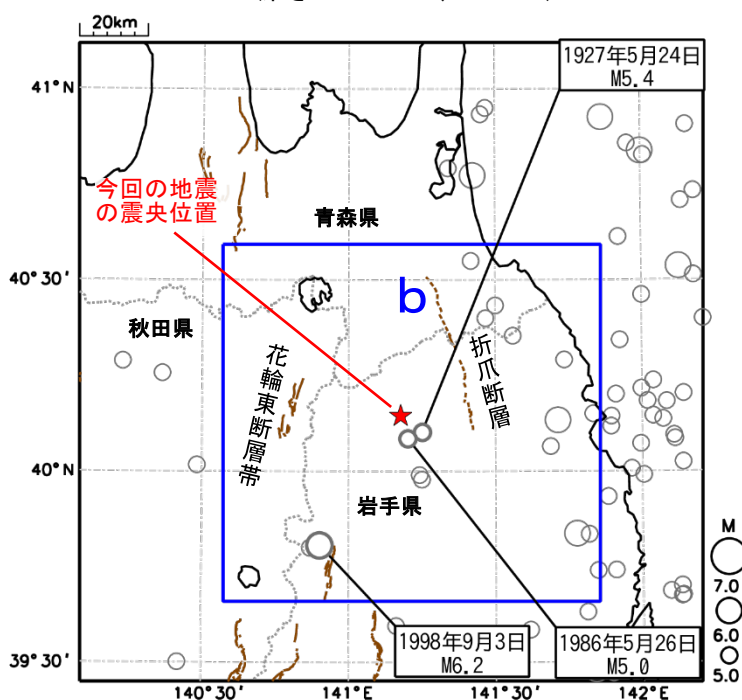
2024年7月19日14時27分に岩手県内陸北部の深さ10kmでM4.0の地震（最大震度4、図中①）が、28日00時58分にはほぼ同じ場所の深さ10kmでM4.2の地震（最大震度4、図中②）が発生した。これらの地震は地殻内で発生した。発震機構はいずれの地震とも西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。今回の地震の震央付近（領域a）ではこれらの地震を含め、震度1以上を観測した地震が6回（震度4：2回、震度1：4回）発生するなど地震活動が活発であった。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）は微小な地震活動がみられるところで、2021年2月19日にはM4.2の地震（最大震度4）が発生するなどM3～4程度の地震が時々発生している。

領域a内のM-T図及び回数積算図

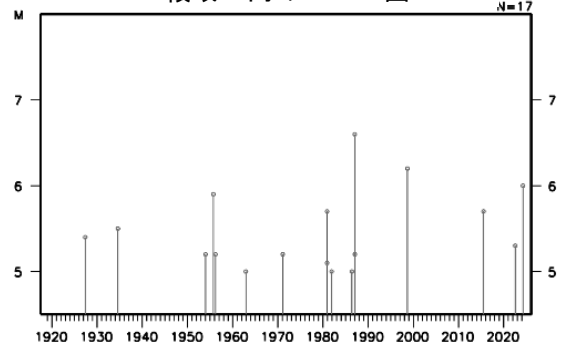


震央分布図
(1919年1月1日～2024年7月31日、
深さ0～100km、M $\geq$ 5.0)



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6を超える地震が時々発生しており、1998年9月3日にはM6.2の地震（最大震度6弱）が発生し、軽傷者9人などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図



図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す